小 ギ ク 栽 培 情 報

令和3年產第8号(9月号)

7,8月咲き品種については、9月20日頃から親株を移植する時期となります。移植に向けた親株床の準備をお願いします。もし、切りあと株の切り戻しがまだの方がおられましたら、急ぎ実施するようにしてください。

さて、今号では、10,11,12月咲き小ギクの管理についてお知らせします。

【10~11月咲き小ギクの管理】

1. 病害虫の防除

アブラムシ・ヨトウ類・オオタバコガ・アザミウマ類・白さび病の発生に注意しましょう!

- ・朝夕が涼しくなり、各種病害虫が最も活動しやすい環境になってきました。特定の病害虫に 偏らない防除を、定期的に続けてください。
- ・白さび病の出やすい(過去に出たことがある) ほ場では、殺菌剤を混和して散布するように してください。

2. 台風、大雨対策

9月9日現在、台風13号と14号が発生しています。14号については今後の進路によっては近畿地方に影響を及ぼす可能性がありますので、「小ギク栽培情報 第7号」を参考に、早めの対策をお願いします。

【12月咲き小ギク(寒小ギク)の管理】

1. 整枝

・摘心をされた方で、側枝が5本以上出てきている株がありましたら、側枝が15~20cm ほどに伸びた頃に生育の揃った枝を3~4本残すよう枝の整理を行ってください。これに より、切り花の生育が揃いやすくなります。

2. 病害虫の防除

ハダ二類・ヨトウ類・オオタバコガ・アザミウマ類・白さび病の発生に注意しましょう!

- ・本年は、花、野菜を問わず管内の施設栽培をされている方でハダニ類の発生が見られます。 ハウス内を観察し、発生を認めた場合は直ちに防除を行ってください。
- ・白さび病についても、定期的な予防散布をしっかりと実施してください。

表1 9月下旬~10月中旬の防除ローテーションの例

(令和3年9月9日時点での登録のもの)

時 期	対象病害虫	薬剤名	使用量・倍率	回数	RAC ⊐-ド
9月下旬	白さび病 褐斑病 黒斑病	ダコニール 1000	1, 000 倍	6回	F:M5
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 オオタバコガ	アファーム乳剤	1, 000~2, 000 倍 1, 000 倍 1, 000 倍 1, 000 倍	5 回	I:6
10 月 上 旬	白さび病	ラリ一乳剤	3, 000 倍	5 回	F:3
	アブラムシ類 アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	2, 000~4, 000 倍 2, 000 倍	5 回	I:4A
10 月 中 旬	白さび病 アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	ハチハチ乳剤	1, 000 倍	4回	I:21A F:39
(発生を確認した病害虫に合わせて、右欄の剤を追加散布してください。)★病害虫発生時	うどんこ病 白さび病 灰色かび病	アフェットフロアブル	2,000 倍	3 回	F:7
	褐斑病 黒斑病 白さび病	ベンレート水和剤	2,000~3,000倍 2,000~3,000倍 1,000倍	6回	F:1
	アザミウマ類 ハダニ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	2, 000 倍	2回	I:30
	アブラムシ類 コナジラミ類	コルト顆粒水和剤	4, 000 倍	4回	I:9B
	アワダチソウグンバイ ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダ二類 オオタバコガ ヨトウムシ類	コテツフロアブル	2, 000 倍	2回	I:13
	ハダニ類	カネマイトフロアブル	1,000~1,500倍	1 🗇	I:20B
	アザミウマ類 ハダニ類	アグリメック	500 倍	5回	I:6

※農薬の使用に当たっては、必ず薬剤容器ラベルの記載事項を確認し、適正に使用してください。

表2 9月下旬~10月中旬の防除ローテーションの例(寒小ギク)

※10~11月咲き品種の栽培が無く防除はハウスの寒小ギクだけ、という方はこちらの表も参考にしてください。

(令和3年9月9日時点での登録のもの)

時 期	対象病害虫	薬剤名	使用量・倍率	回数	RAC ⊐-ド
9月下旬	さび病	ジマンダイセン水和剤	400~600 倍	8 回	F:M3
	アワダチソウグンバイ ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダニ類 オオタバコガ ヨトウムシ類	コテツフロアブル	2, 000 倍	2回	I:13
10 月上旬	白さび病 アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	ハチハチ乳剤	1, 000 倍	4回	I:21 A F:39
10 月中旬	白さび病 褐斑病 黒斑病	ダコニ―ル 1000	1, 000 倍	6回	F∶M5
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 オオタバコガ	アファーム乳剤	1, 000~2, 000 倍 1, 000 倍 1, 000 倍 1, 000 倍	5 回	I:6

※農薬の使用に当たっては、必ず薬剤容器ラベルの記載事項を確認し、適正に使用してください。